

末崎町の石碑・祠・神社(38)

経塚について ～ その1

(1) 経塚(きょうずか)とは
末法(まっぽう)思想に基づき、将来のために経文を筒に入れて腐らないように密封し、土中に埋めその上に塚を築いたものです。この末法思想とは、お釈迦様が入滅後、時代が進むにつれて仏法が次第に衰えて、無法の時代になる、という考えです。その時のために、経文を土中に埋めて後世に残そうとしたものです。末法の時代とは、お釈迦様が亡くなってから 2000 年後で、西暦に合わせると 1052 年とされ、平安時代後期にあたります。ちょうどこの頃日本は、政治が乱れ戦乱が続き、加えて飢餓、災害、疫病等であれに荒れたので、本当に末法の時代になったと思われ経塚を造ったと言われています。
ただし、世の中が平穏になってくると、末法思想がうすれ極楽往生や追善供養、あるいは地鎮等のものも現れ、形も前回掲載した一字一石塔に変わったものもあっていわれています。

(2) 末崎町には一か所だけある
所在地 大船渡市末崎町中森 熊野神社裏の 杉林の中
建立年月日 安政3年8月(1856年)

(3) 説明
① 大船渡市史第五巻P 447には、次のように載っている
泊里熊野神社の御神体と共に松島の福浦島から船に積まれてはるばるこの地に流れ着いた宝物の一部、多分経文その他のものであると想像されるが、この石の下に埋められてある、というのが伝説である。経塚と呼びならしてあり、3m 四方位に石垣をめぐらしその中に埋めてあるという。(紀)



熊野神社裏の経塚 2008年11月撮影

防犯荣誉金章を受賞

気仙地区防犯協会連合会副会長の近藤均氏(神坂)は、このたび警察庁長官・全国防犯協会連合会長連名表彰の防犯荣誉金章を受賞した。多年にわたり地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献されたとして全国表彰となった。

東京の明治記念館(港区元赤坂)で9月24日に行われた「令和2年全国地域安全運動中央大会」で表彰を受けることになった。代表として、このたび盛岡市で開催された県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会などが主催する「安全安心まちづくり大会」において岩手県警察本部長より表彰伝達を受けた。



末小こいのぼり大運動

末崎小学校(校長小石敦子、生徒数141人)は10月3日、こいのぼり大運動会を開催した。
令和2年度の児童会スローガンは「一致団結、楽しい運動会」。175匹のこいのぼりが泳ぐその下で、141人の子供たちが赤白に分かれ12競技種目に躍動した。

防犯荣誉金章は防犯功労表彰最上位のものであり、岩手県からは唯一人の受賞であった。
近藤氏は教員時代から防犯に積極的に参加・協力してきた。子供たちを守るスクールガードのリーダーや県防犯協会連合会副会長も務めた。現在は、気仙地区防犯協会連合会副会長、大船渡市防犯協会連合会副会長を務める。83歳になるいまも毎朝、自宅近くの旧大船渡市農業協同組合末崎支店前の三叉路に立ち、登校する子供たちの安全を見守っている。
近藤氏は、このたびの受賞にあたって「長い間、こうして防犯活動に携わってこられたのは多くの方々のおかげがあったからであり感謝を申し上げたい」と話している。



運動会の幕開けは、赤組白組の応援合戦。赤白それぞれの応援団長のもと一丸となった応援が繰り広げられた。競技は各学年の徒競走から始まった。1・2年生は50mゴールめざして一直線、元気がいっぱい。3・4年生は100m、カーブにも初挑戦、懸命に走っていた。5・6年生は、上級生だけあって伸び伸びと走っていた。団体1・2年の曲に合わせての玉入れはいいアイデアで子供たちも楽しそう

認知症に関心を

日本も平均寿命は毎年延びつつありますが、それに伴って認知症になっていく人も増加している。
認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなって記憶力や判断力などが低下し、日常生活や社会生活に支障がでる状態をいう。現在の医学において、認知症を治療する方法はまだ見つかっていないという。
岩手西北医師会認知症支援地域ネットワーク代表の神経内科・脳神経外科クリニックの紺野敏昭先生の認知症講演会が9月27日、大船渡市民文化会館リアスホールで行われた。認知症は認知機能低下を基盤とした生活障害であり、ゆつくり進行する。予防する薬もないが皆が認知症というのを知り、まわりで、社会で支えていけばかなり改善される

- 1 記憶障害
新しい体験の記憶や、知っているはずの記憶の呼び覚ましに困難になる障害。
- 2 実行機能障害
旅行や料理など計画や手順を考え、それにそって実行することが困難になる障害。
- 3 見当識障害
時間、日付、季節感、場所、人間関係などの把握が困難になる障害。
- 4 理解・判断力の障害
2つ以上のことの同時処理やいつもと違う些細な変化への対応が困難になる障害。
(行動・心理症状)
妄想、幻覚、攻撃的な言動、徘徊、無気力、睡眠障害、便をいじるなど排泄の混乱、過食など食行動の混乱などである。

認知症は早期発見が大切

早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができるといわれる。
認知症の疑いがある場合は、専門医に行き、相談しましょう。

★秋季体育協会杯GG大会結果

末崎体育協会(会長村上義孝)主催による秋季末崎体育協会杯グラウンドゴルフ大会は、10月18日、小細浦グラウンドゴルフ場にて開催された。快晴のもと29人の参加者が競技に臨んだ。結果は、つぎのとおりである。
優勝 澤下日出子 62打
優優勝 佐藤優子 62打
準優勝 澤下隆 62打
第三位 澤下隆 62打

★「末崎名画劇場」

「お茶っこ会」のお知らせ
日時 11月7日(土)
上映時間 13:30～15:30
上映作品 居場所ハウス
「山懐に抱かれて」
参加無料